

# トホクのトウガラシ栽培方法

発芽適温：25～30℃ 生育適温：20～30℃  
土壌酸度：pH6.0～6.5 連作障害；3～4年あける

## 1. 作物特性

トウガラシはピーマンと同じ種類で、暑さに強い夏の野菜です。高温性の作物ですから暖かくなってからタネをまき、霜の心配がなくなってから植えます。病気や害虫の被害も少なく栽培は比較的容易ですから、プランターを利用してベランダでの栽培もできます。果実を連続して収穫するためには肥料切れを起こさぬように、追肥と水やりを欠かさないことがポイントです。

## 2. 畑の準備

トウガラシはナス科の野菜です。連作を嫌いますから、同じナス科のトマトやナスやジャガイモなどの連作も避け、3～4年間隔をあけます。雑草防除と土壌水分保持のためにマルチを張っておきます。



## 3. タネまき

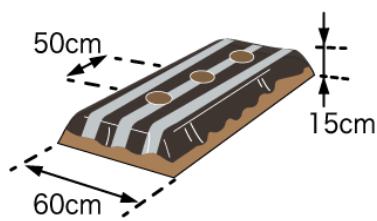
発芽適温は 25～30℃と比較的高いので暖かくなってからタネをまきましょう。ポットに深さ 5mm 程度にタネをまきます。水をたっぷりか



け、発芽まで乾燥させないようにします。本葉 2 枚の頃までに生育の良いものを残して他は間引き 1 本にします。トウガラシは高温性の野菜です。十分に日光に当てて、葉が厚く節間の短いがっちりした苗に育てることが大切です。1 番花が咲く頃までしっかり管理しましょう。

## 4. 植えつけ

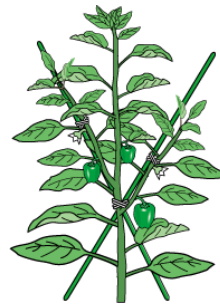
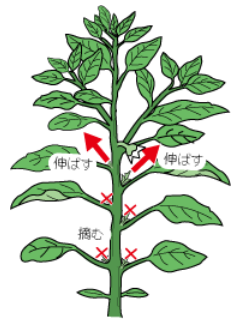
1 番花が咲いた頃が植えつけの適期です。地温が低いと生育が悪く花が落ちてしまいます。植えつけの数日前には



マルチを張って地温を上げておくことがポイントです。株間は 50cm 以上とります。植えつけた後はしっかりと水をやり、倒れないように仮の支柱を立てて誘引します。

## 5. 栽培管理

1 番花のすぐ下のわき芽が強い性質があるので、主茎以外にわき芽 2 本を残して、他は早めに摘み取り 3 本仕立てにします。トウガラシは枝が弱く、風で折れたり倒れたりしやすいので、必ず支柱にしっかり固定しましょう。



伸ばした側枝に沿うように支柱を斜めに立て、その後この側枝も支柱に固定します。両側にしっかりとした支柱を立て、そこからテープで枝を支えても良いでしょう。



植え付けの 2 週間後から約 2 週間おきに、化成肥料 40g を株元に追肥します。雨が少ない場合は定期的に水やりをします。

## 6. 収穫

適当な大きさになれ順次収穫します。トウガラシの枝は折れやすいので、収穫は必ずハサミを使いましょう。



鷹の爪トウガラシは、熟したものを順次摘み取って利用しますが、株全体に実が赤になったら株ごと引き抜き雨のあたらない風通しの良い所でしっかり乾燥させ、保存します。

栽培例	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地												
中間地												
暖地												

● まく時期    ■ 収穫期